

# ストレッチポールA

(一社) 仮設工業会旧認定品  
(新認定基準適合品)

※2019年2月1日改正された「親綱支柱」の認定基準に適合  
枠組足場先行親綱緊張システム

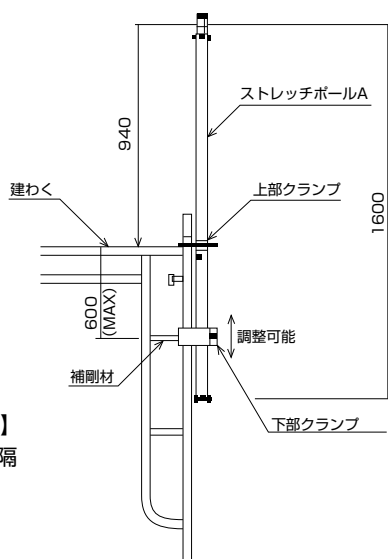


枠組足場の組立及び解体作業時に使用される、水平親綱支柱システムです。

## 特 長

1. 上段の親綱を先行して緊張することができます。
2. アルミ製で親綱支柱の盛り替え作業が容易に行えます。

## ◆形状・寸法



【下部クランプ調整範囲】  
建枠上端より補剛材間隔  
600mmまで

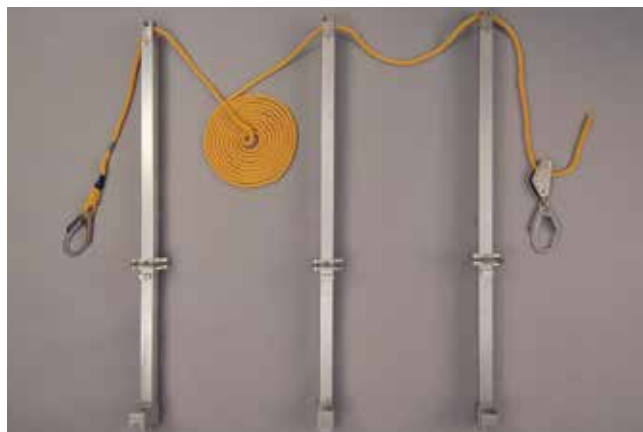
## ◆設置方法

(一社) 仮設工業会の定める使用基準より、  
垂直距離が最低6.75m以上を確保できるわく組組  
立てから使用してください。

※垂直距離(H)が6.75mを満足できない場合については、墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドラインにおいて、支柱用親綱を低い位置に設置する場合について記述された「作業場所の構造上、低い位置に支柱用親綱を設置する場合には、短いランヤード又はロック機能付き巻取り式ランヤードを用いる等、落下距離を小さくする措置を講じること。」に準じてください。

## ▲注意事項

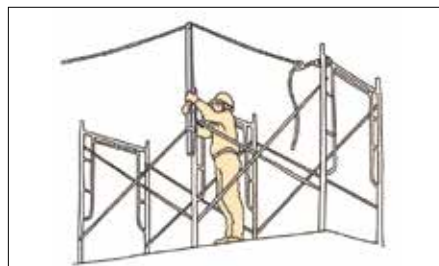
1. (一社) 仮設工業会が規定する水平親綱支柱システムの使用基準を遵守してください。
2. 墜落制止用器具は、安全性の確認されたものを用いて、墜落制止用器具のランヤードの長さを1.7m以内にて使用してください。
3. ストレッチポールAの設置スパンは、10m以下としてください。
4. 支柱間の作業者は誘落防止のため1スパンで1人の使用としてください。
5. ストレッチポールAはわく組足場の脚注、横架材、補剛材に確実にセットしてください。
6. 控綱を支柱の取付け位置より外側1スパン目に必ず取り付けてください。
7. 支柱より直接控綱を取らないようにしてください。
8. コーナーに使用する支柱には水平、直交、2方向の支柱用親綱を同時に取り付けないでください。
9. 落下衝撃が加わった支柱、支柱用親綱および親綱緊張器は、再使用しないでください。
10. 用途以外に使用しないでください。



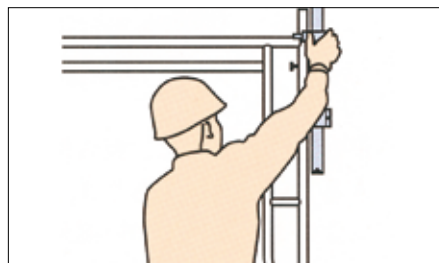
【質量 3.5kg】 ※ロープ、緊張器は再リース品です。

## ◆取付手順

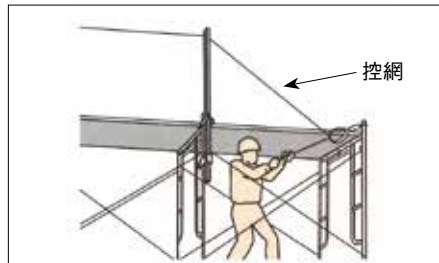
### ①親綱の取付 (盛り替え)



### ②支柱の取付 (盛り替え)



### ③親綱の緊張



### ④組立作業の開始

